

【岩美町】校務DX計画

令和5年12月27日付5初修教第15号「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストの自己点検結果の報告について(通知)」(以下「自己点検結果」という。)における自治体別達成状況では、岩美町は全国平均を上回った数値となっている。(町立学校4校の平均:416.0点、全国平均363.1点)

以下の3点に関する調査項目については、達成率が低い傾向にあるため、今後重点的に取り組む。

1 クラウド環境の活用推進について

児童生徒への各種連絡や教材共有にあたってのクラウド活用や、教職員間での情報共有にあたってのクラウド活用は、多くの学校で進んでいる一方で、自己点検結果によると、保護者へのアンケートや、保護者との日程調整におけるクラウドサービスの利用において、学校間で取組に差が生じているため、定例的に各校担当者と開催する「情報教育推進員連絡会」において、取組の事例や様式データを共有し、町全体としてクラウドサービスの一層の活用と、校務の効率化を進める。

2 FAX・押印等の制度・慣行の見直しについて

自己点検の結果によると、対象4校全ての学校でFAXを使用しており、また保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があるという状況である。

押印については、町教育委員会としては令和4年4月1日付で「岩美町教育委員会に提出する書類の押印の省略等に関する規則」を施行しており、今後も押印の省略及び記名をもって署名に代えることで事務の簡素化を進めていく。

FAXでのやり取りの見直しについては、教育委員会と学校間では既にFAXは使用しておらず、外部に対しては相手方の事情がある場合を除き、原則廃止する取り組みを推進する。

3 セキュリティの強化とネットワーク最適化について

現在鳥取県内で共同調達を行っている校務支援システムや、次世代の校務系ネットワークの検討が今後進んでいくが、令和9年度以降の更新を予定する校内システムネットワークについても、それらとの親和性や、クラウド活用の進行に対するセキュリティの強化を踏まえ、効率的な運用が可能となるよう第1期GIGAスクール構想時からの環境の変化を踏まえ最適化を図る。